



中谷智司携帯サイトへ



農林水産業の立て直しに全力！

参議院農林水産委員会の民主党筆頭理事として、また農林水産省担当の民主党副幹事長、民主党参議院国会対策副委員長として、農林水産業の再生に全力で取り組んでいます。

六月十九日(火)
参議院農林水産委員会より

農林水産業の位置付け

●中谷智司

私の地元徳島県を始め、地方は第一次産業を中堅企業が支えていると思っている。ずっと第一次産業、農林水産業の再生に取り組んでこられた郡司新大臣は、これからのような取組をしていきたいのか。

○郡司彰農林水産大臣

震災からの復興を一番に考えていかなければいけない。そして、農林水産業は裾野が広く、地域に密着しており、農林水産業をしっかりと成り立たせるこ



とが社会を成り立たせる一番の基だ。

しかし、現状は自給率が低く、生産を高めるといことが、今後の世界的な人口の増加、食料不足の中で大事になる。

農業の再生

●中谷智司

今、私たちの国は東日本大震災からの復旧復興、地方を始めとする日本経済の立て直しなど様々な課題に取り組まなければならない。その中で、第一次産業、農林水産業の役割は、非常に重要だと思っている。

農業は、農産物や地域、農業者の年齢などにより本場に様々であり、柔軟な対応が必要だ。しかし、所得の下落や農業者の減少、担い手不足、高齢化などの様々な課題を抱えている。それらをどのように解決しようとしているのか。

○郡司彰農林水産大臣

農業における高齢化の大きな要因の一つは所得が十分でないことだ。所得をきちんと確保することが、若い人たちの就農を促すために大事だ。

かなりの人口減少が予測され、これまでに多くの集落が消滅した。六次産業化などの地域の活性化のための取組が重要だ。地域に根差した農業を、現地の声をきめ細かく聞いて進めていくことも必要である。所得の適正化、後継者をきちんとつくる、地域を活性化させる、消費者に理解される、そのような政策をしっかりと進めていきたい。

もっかる農業

●中谷智司

農政にずっと全力で取り組んでこられた郡司大臣ならではの話を。農業には様々な課題が山積しているが、その中でも所得が一番重さがあると思う。だから、農業を、以前のように一生懸命仕事をすれば生活ができていく。



る、つまりもっかる産業へと変えなければならぬ。徳島の皆さんの農業者ともそのようなお話をしている。もっかる農業にするためにどういった対策を打ち込むのか。

○森本哲生大臣政務官

農業の六次産業化が大きなテーマだ。それには、まずプランナー、人材育成が大事だ。そして、これまでの取組からもう一つ脱皮し、もっかる農業に上げるために今国会にフアンド法案を提出した。その上で、輸出を含めてしっかりと取り組んでいきたい。

●中谷智司

どれくらい所得の向上を目

指しているのか。

○森本哲生大臣政務官
数字的には難しい。戸別所得補償で農家所得が上がった以上の利益を生まないと、もうかる農業とは言えないのではないか。

農業者の経営意識育成

●中谷智司

農産物のブランド化や六次産業化などで付加価値を高めること、そして大規模化による効率向上や、流通、販売方法を変えることにより所得を向上できる。高齢の農業者は、大きくやり方を変えることは難しい。少しだけ新しい取組をしてもらい、例えば五%、一〇%の所得が向上すれば喜んでいただけるのではないか。若い農業者には、ブランド化や六次産業化や販売方法の変更などを大胆に行ってもら



郡司彰農林水産大臣

い、大幅に所得向上を行うなど柔軟な取組が必要である。

もう一つ、農業者は農産物づくりのプロだが、経営感覚が不足している面もある。農業者に経営感覚を持っていただくための取組について伺う。

○岩本司副大臣

本年三月に新たな農業経営指標を策定し、経営改善に必要な取組の実施状況等を自己チェックできる仕組みを構築した。特に認定農業者には、この経営指標による自己チェックを毎年行っていたこととした。農業者の経営意識の向上、発展に努める。

海外販路の開拓や拡大

●中谷智司

経営感覚を持って農業に取り組もうとされている方には、是非ともチャンスを与えていただきたい。

また、もうかる農業へと変わるためにはマーケットを考えることも必要である。日本は人口減少、少子高齢化が進み、経済成長しづらい時代になるが、世界人口は七十億人を突破し、大きく経済成長しようとする国もたくさんある。世界の成長を日本の成長へと取り込んでいく取組について聞かせてほしい。



岩本司副大臣

○森本哲生大臣政務官

日本の農産物の品質の高さは国際的に十分通用する。高級品と中間の層をどのような戦略で売っていくかというところがとても大事だ。作るだけではなく、販売するために、もてなしの心をどう反映するか、お客の心をどう引いていくか、それを生産者にどのように伝えていくかという仕組みを支援していくのが大事だ。

農業者の高齢化や後継者難への対策

●中谷智司

●中谷智司

地方で作ったすばらしい品質の農産物を、国内の大都市に、あるいは成長するアジアを始め世界の国々に届けることは大変重要だ。今でも積極的に取り組んでいるが、更に進めて欲しい。農業の高齢化は問題だが、年配の方々が元気に生き生きと働くというのは本場にすばらしいことであり、農業が高齢化社会に対応した成功モデルになるので

はないかと思う。一方、若い方が農業に入ってきてくれないのは大きな問題である。この点についてどのような対策を行っているか。

○岩本司副大臣

青年の新規就農意欲を喚起し、就農後の定着を図るために、平成二十四年度予算において新規就農総合支援事業を創設した。具体的には、就農に向けた研修を行っている青年就農希望者に対する給付金（二年以内で年間百五十万円）の給付や、就農した経営開始直後の青年就農者の所得確保を支援する給付金（五年以内で年間百五十万円）の給付などの施策を総合的に実施している。

新規就農総合支援事業

●中谷智司

新規就農総合支援事業は、考え方としては本場にすばらしい。地元の農業者からの評価も高い。しかし、適用する要件が分かりにくい、実情に合っていないという声が出ているのも事実だ。こうした声に対する取組を聞かせて欲しい。

○岩本司副大臣

もっと分かりやすくお伝えする努力をしていきたい。新規就農総合支援事業は全国的に人気



後援会員・ボランティア いつも募集しています!

中谷智司後援会
〒770-8053
徳島市沖浜東1-64
tel.088-602-0106
fax.088-602-0107

カンパ〇座
阿波銀行 昭和町支店
普通1263754 智の会

●中谷智司

農林水産の分野というのは、大変重要な重要な分野だ。それだけ本場にすばらしく、農業者や国民の皆さんが期待をしている分野であると思う。これから私も一緒に頑張り、すばらしい農林水産業にしていきたい。